

統合病院の情報システム 整備の方向性について

■統合病院の情報システム整備計画(案)

(1) 導入システムについて

※仕様等はいずれも現時点における想定

□電子カルテシステム（複数医療機関対応型）

- ①端末台数：市川三郷町立病院：クライアント 80台、プリンタ50台、ラベルプリンタ5台
社会保険鵜沢病院：クライアント120台、プリンタ70台、ラベルプリンタ5台
- ②対象システム：電子カルテ、オーダーリング、看護支援、部門システムインターフェイス
- ③院内ネットワーク整備
- ④サーバー設置場所：社会保険鵜沢病院

□医事会計システム（複数医療機関対応型）

- ①端末台数：市川三郷町立病院：クライアント10台、プリンタ4台
社会保険鵜沢病院：クライアント10台、プリンタ4台
- ②サーバー設置場所：社会保険鵜沢病院
- ③市川三郷町立病院のYCC医事システムからのデータ（患者基本情報）移行
社会保険鵜沢病院の東芝医事システムからのデータ（患者基本情報）移行
- ④再来受付機、オートエンボッサー（診察券カード発行機）、カルテ棚連動について、現行システムと接続

(2) 情報連携について

□山梨大学病院との診療情報連携

- ①連携サーバーの設置：医療情報連携システム（仮称）による連携
- ②市川三郷町立病院・社会保険鵜沢病院の電子カルテ（診療情報）が山梨大学病院の電子カルテと相互に連携

□ネットワーク

- ①病院間回線速度（想定）：市川三郷町立病院～社会保険鵜沢病院：1Gbit/s（推奨）
社会保険鵜沢病院～山梨大学病院：100Mbit/s
- ②病院間のネットワーク：「山梨県情報ハイウェイ」又はNTT等の回線サービスを想定
- ③ネットワーク構築

□部門システム

- ①各病院の部門システムとの接続
- ②処方・検体検査・給食・放射線（RIS）の標準インターフェイスは電子カルテ構築に含む。

□その他

- ①市川三郷町立病院と社会保険鵜沢病院の患者IDの統合

■ 統合病院の情報システム整備計画(案)

